

研究課題：骨髄炎に関する診断の検討 ～Recurrent fever and arthralgia with osteomyelitis～

1. 研究の目的：小児期における慢性骨髄炎は比較的稀です。基礎疾患として感染症が最も多いと言われていています。しかし非感染性骨髄炎は白血病やリンパ腫等悪性疾患が原因となることもあります。確定診断は骨髄穿刺や骨髄生検といった侵襲的な検査が必要です。また、慢性再発性多発性骨髄炎といったリウマチ性疾患も鑑別に挙げられます。今回、慢性骨髄炎の患者に関して、診断的検討を行いました。本研究は臨床経過の解析と報告を目的とします。
2. 研究の方法：診療録を用いた後方視的観察研究です。観察項目は、身体所見、血液検査、画像検査、骨生検、を用います。
3. 研究期間：倫理委員会で承認された後、～2021年12月31日
4. 研究に用いる資料・情報の種類：診療録、血液検査、画像検査、病理検査です。
5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表：学会報告、学術論文となります。
6. 研究組織：埼玉県立小児医療センター感染免疫科 医長 佐藤 智
7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先  
研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年12月1日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）